

低汚染弱溶剤形樹脂塗料

ワイドシリーズ(NEW)

2液形

ワイドシリコン / ワイドウレタン

防錆形ワイドシリコン / 防錆形ワイドウレタン

弾性ワイドシリコン / 弾性ワイドウレタン α

1液形

1液ワイドシリコン α / 1液ワイドウレタン

1液ワイドウレタン破風用

1液ワイドウレタン木部用下塗

- 低汚染性
- 高耐候性
- 防かび性
- 防藻性
- 素地適応性

建築塗料の総合メーカー



スズカファイブ株式会社

ワイドシリーズは塗料用シンナーでの希釈を可能にした2液形高性能塗料です。
弱溶剤を使用しているため臭いがマイルドで、作業環境の改善に役立ちます。
塗替時、既存塗膜を侵すことが少ないため、既存塗膜の種類を問わずに塗装することができます。

超低汚染弱溶剤形
アクリルシリコン
樹脂塗料

セラミック配合

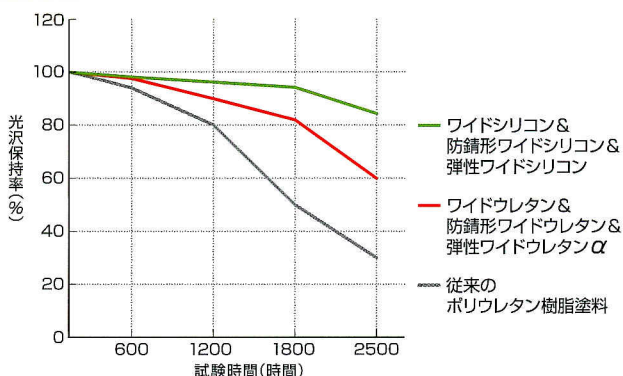
ワイドシリコン
防錆形ワイドシリコン
弾性ワイドシリコン

超低汚染弱溶剤形
ポリウレタン
樹脂塗料

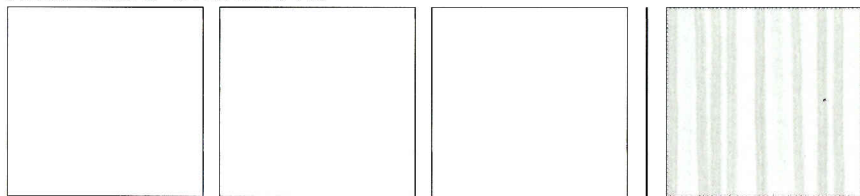
セラミック配合

ワイドウレタン
防錆形ワイドウレタン
弾性ワイドウレタンα

促進耐候性試験結果(キセノンランプ法)



汚染性試験(屋外暴露6ヶ月)



ワイドシリコン

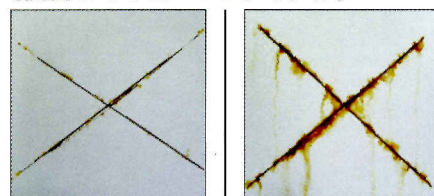
弾性ワイドシリコン

ワイドウレタン

一般ウレタン樹脂塗料

※防錆形ワイドシリコン・防錆形ワイドウレタン・弾性ワイドウレタンαも同様の低汚染効果があります。
注)建物の構造、塗装部位(雨のかりがが少ない面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。

防錆形ワイドシリーズ防さび試験
(複合サイクル:36サイクル)



防錆形ワイドウレタン

一般2液ウレタン樹脂塗料

※防錆形ワイドシリコンも同様の防さび効果があります。

塗装間隔及び可使時間

	塗装間隔			可使時間		
	5~15℃	15~25℃	25~35℃	5~15℃	15~25℃	25~35℃
ワイドシリコン 防錆形ワイドシリコン 弾性ワイドシリコン	6時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	2時間以上 7日以内	10時間	7時間	4時間
ワイドウレタン 防錆形ワイドウレタン 弾性ワイドウレタンα	6時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	2時間以上 7日以内	10時間	7時間	4時間

商品体系

商品名	色 相	容 量
ワイドシリコン 防錆形ワイドシリコン	つや有り	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺 調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)
	7・5・3分つや	白・調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)
弾性ワイドシリコン	つや有り	14kgセット(主剤 12kg・硬化剤 2kg) 3.5kgセット(主剤 3kg・硬化剤 0.5kg)
	7・5分つや	白・調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)
ワイドウレタン	つや有り	15kgセット(主剤 13kg・硬化剤 2kg) 3kgセット(主剤 2.6kg・硬化剤 0.4kg)
	7・5・3分つや	白・調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)
防錆形ワイドウレタン	つや有り	14kgセット(主剤 12kg・硬化剤 2kg) 3.5kgセット(主剤 3kg・硬化剤 0.5kg)
	7・5・3分つや	白・調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)
弾性ワイドウレタンα	つや有り	14kgセット(主剤 12kg・硬化剤 2kg) 3.5kgセット(主剤 3kg・硬化剤 0.5kg)
	7・5分つや	白・調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)

塗装適用範囲

適用部位	適用素地	適用既存塗膜
●建築物(内外部用)	●セメント系素材 コンクリート・モルタル・スレート・PC 部材・窯業系サイディングなど	●合成樹脂調合ペイント ●ポリウレタン樹脂塗料
●鋼構造物	●金属系素地 鋼板・鋼材・アルミ・ステンレス・金属系サイディング・トタン・カラートタンなど	●フタル酸樹脂エナメル ●塩化ゴム系塗料
		●アクリル樹脂エナメル ●リシン・吹付タイル
		●アクリルアルキド樹脂塗料

※シャッター・歩行部位への使用は避けてください。

環境に優しく、簡単便利で、経済的。

自己架橋システムの導入により、1液タイプで優れた性能を有する弱溶剤形樹脂塗料です。

環境への配慮と使いやすさを追求し、幅広い既存塗膜に対応する理想的な塗料を提案します。

弱溶剤自己架橋
アクリルシリコン
樹脂塗料

セラミック配合

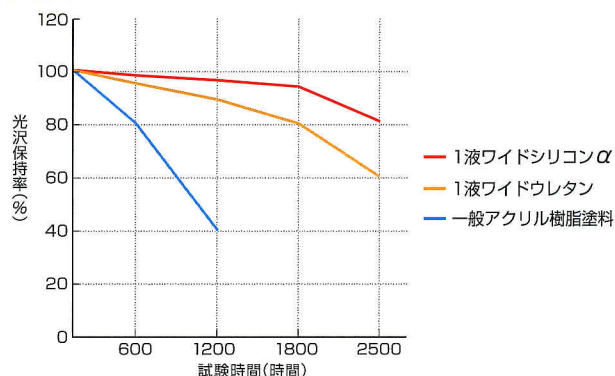
1液ワイドシリコンα

弱溶剤自己架橋
ポリウレタン
樹脂塗料

セラミック配合

1液ワイドウレタン

促進耐候性試験結果(キセノンランプ法)



特 長

◆高耐候性◆

自己架橋による強靱な塗膜は、紫外線、酸性雨などに対して優れた抵抗性を示します。

1液ワイドシリコンα：耐候性1種に相当

1液ワイドウレタン：耐候性2種に相当

◆弱溶剤◆

弱溶剤タイプなので、既存塗膜を溶解、リフティングさせる心配が少なく、安心して使用できます。
強溶剤タイプに比べ、臭気がマイルドで、作業環境が改善されます。

◆1液タイプ◆

自己架橋樹脂の技術で使いやすい1液形の塗料設計を実現しました。

◆低汚染◆

セラミック配合により、低帯電性の汚れにくい塗膜を形成します。

◆無鉛◆

鉛・クロムを原料に使用していません。

商品体系

商品名	色 相	容 量
1液ワイドシリコンα	つや有り 白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺 調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)	15kg 3kg (原色のみ)
	7・5・3分つや 白・調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)	15kg 3kg
1液ワイドウレタン	つや有り 白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺 調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)	15kg 3kg
	7・5・3分つや 白・調色品(淡彩色・中彩色・濃彩色)	15kg 3kg
1液ワイドウレタン (破風用)	つや有り チョコレートブラウン・ライトブラウン・ カーキ	15kg 3kg
1液ワイドウレタン 木部下塗り	—— マザーブラウン・オフホワイト	16kg 4kg

ONE-PACKED WIDE SERIES

Three「E」宣言
ECO・EASY・ECONOMICAL

塗装適用範囲

適用部位	適用素地	適用既存塗膜
●建築物(内外部用)	●セメント系素材 コンクリート・モルタル・木部・スレート・PC部材・窯業系サイディングなど	●合成樹脂調合ペイント ●フタル酸樹脂エナメル ●アクリル樹脂エナメル ●アクリルアルキド樹脂塗料
●鋼構造物	●金属系素地 鋼板・鋼材・アルミ・ステンレス・金属系サイディングなど	●ポリウレタン樹脂塗料 ●塩化ゴム系塗料 ●リシン・吹付タイル

※シャッター・歩行部位への使用は避けてください。

専用色見本

1液ワイドウレタン(破風用)



チョコレートブラウン



ライトブラウン

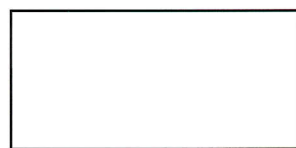


カーキ

1液ワイドウレタン木部下塗り



マザーブラウン
(日塗工09-30D近似)



オフホワイト
(日塗工N-93近似)

注)色見本は印刷ですので、現物とは若干の色差があります。
ご了承ください。

共通色見本



↑A002



↑A005



↑A009



↑A010



↑A455



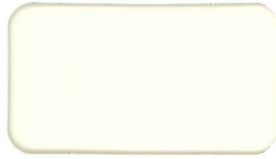
↑A401



↑A201



↑A303



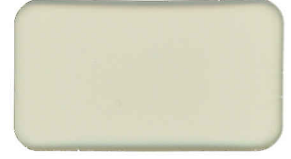
↑A417



↑A204



↑A419



↑A428



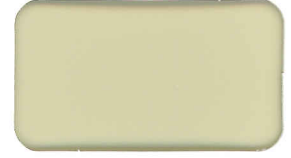
↑A001



↑A602



↑A607



↑A420



↑A411



↑A320



↑A322



↑A370



↑A350



↑A358



↑A359



↑A305



↑A500



↑A403



↑A470



↑A471



↑A352



↑A271



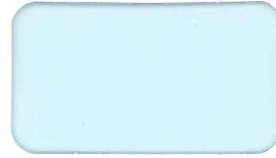
↑A272



↑A273



↑A013



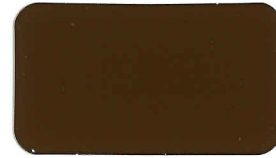
↑A650



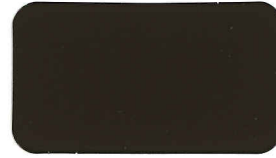
↑A652



↑A020



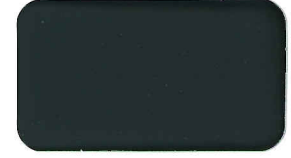
↑A260



↑A261



↑A263



↑A021

お願い

- 色見本は、紙に塗装していますので、実際の仕上がりとは、色・つやが多少異なります。ご了承ください。
- 色によっては材料費が割高になるものや調色扱いとなるものがありますのでご了承ください。
- 広い面積に塗装した場合、実際の色が見本帳の色よりも多少明るく見える場合があります。
- 1液ワイドウレタン(破風用)及び1液ワイドウレタン木部下塗り塗の色は前項の専用色見本からお選びください。

新設塗装仕様

外壁（コンクリート・モルタル）

【平滑仕上げ】

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●素地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●素地のレイトンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンフィラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
2 下塗り	ワイドシーラーEPO	100	0.10～0.17	1	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 0～20	0.12～0.16	2	3時間以上 7日以内 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：ワイドシリコン・ワイドウレタン
□使用可能下塗り：ワイドシーラーEPO・ワイド浸透シーラーシリーズ・ピナクルホワイト・ピナクルシーラー・ラフトンエポキシシーラーなど
押出成型セメント板には、ラフトンエポキシシーラー・ワイドシーラーEPO又はワイド浸透シーラーシリーズをご使用ください。

【凹凸仕上げ】

工 程	塗 材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1 下地調整	●下地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●下地のレイトンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンフィラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
2 下塗り	サンプラ 清水	100 0～5	0.07～0.11	1	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3 主材塗り	ラフトンジャンボRE 清水	100 0～3	1.4～1.6	1	16時間以上 凸部処理 1時間以内	タイルガン 口径8.5～8.0mm 吹付圧0.3～0.6MPa
4 上塗り	ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 0～20	0.12～0.20	2	3時間以上 7日以内 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：ワイドシリコン・ワイドウレタン
□使用可能主材：ラフトンジャンボ、ラフトンジャンボRE・ラフトンジャンボSI、ラフトンローラー・ラフトンローラーRE・ラフトンローラーSI
□使用可能下塗り：ワイドシーラーEPO・ピナクルホワイト・ピナクルシーラー・ラフトンエポキシシーラー・ワイド浸透シーラーシリーズ・サンプラなど

【防水形凹凸仕上げ】

工 程	塗 材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1 下地調整	●下地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●下地のレイトンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンフィラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
2 下塗り	サンプラ 清水	100 0～5	0.07～0.11	1	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3 主材塗り	基層 塗り	ラフトン弾性ジャンボG 清水	100 4～6	1	5時間以上	リジンガン、タイルガン 口径5.0～6.5mm 吹付圧0.3～0.5MPa
	模様 塗り	ラフトン弾性ジャンボG 清水	100 1～3	1	16時間以上 凸部処理 1時間以内	リジンガン、タイルガン 口径8.5～8.0mm 吹付圧0.2～0.4MPa
4 上塗り	弾性ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 0～20	0.12～0.20	2	3時間以上 7日以内 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：弾性ワイドシリコン・弾性ワイドウレタンα
□使用可能主材：ラフトン弾性ジャンボG又はRE・ラフトン弾性ローラーG又はRE
□使用可能下塗り：ワイドシーラーEPO・ピナクルホワイト・ピナクルシーラー・ラフトンエポキシシーラー・ワイド浸透シーラーシリーズ・サンプラ
※防水形凹凸仕上げの上塗りは、弾性ワイドシリコン・弾性ワイドウレタンαのみ使用可能

金属部（鉄・亜鉛鉄板・アルミニウム・ステンレス）

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー・ワイヤーブラシ・研磨布・皮スキなどの手工具を併用して、さび・黒皮・汚染付着物などを除去する。 (ケレン種別は各鎮止塗料のカタログを参照してください。) ●油類は、溶剤がきで除去する。					
2 下塗り	1液ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0～5	0.12～0.18	1～2	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
	ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0～10	0.18～0.24	1～2	8時間以上 1ヶ月以内	
3 上塗り	ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 0～20	0.12～0.16	2	3時間以上 7日以内 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：ワイドシリコン・ワイドウレタン
□使用可能下塗り：エポマイルド・1液ワイドさびストップ・ワイドさびストップ・エポブラ・さびストップ・リフノン・ワイドラスノンEPO
※どぶ漬溶融亜鉛めっき鋼材には、塗装上の注意事項を十分に確認の上、ワイドさびストップ・さびストップを使用してください。

■ 取扱い上の注意事項

- ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、溶剤・弱溶剤下塗は、引火性の液体ですので、火気のあるところで使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう、保護具を着用してください。
- 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 臭いは、食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるまたは養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。

塗り替え塗装仕様

外壁（コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード）

【既存塗膜のデクスチャーを活かす場合】

●既存塗膜…リシン・吹付タイル・スタッコ・EPO・AEP

工 程	塗 材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1 下地調整	●チョーキング・汚れ・じんあい・劣化塗膜などを高圧水洗で除去する。 ●水洗い面を十分に乾燥させる。					
2 上塗り	ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 0～20	0.12～0.20	2	3時間以上 7日以内 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：ワイドシリコン・ワイドウレタン
※吸い込みが著しいなどで下塗りをされる場合には、ワイドシーラー EPO・ワイド浸透シーラーシリーズ・リフノンをご使用ください。

●既存塗膜…弾性タイル

工 程	塗 材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1 下地調整	●チョーキング・汚れ・じんあい・劣化塗膜などを高圧水洗で除去する。 ●水洗い面を十分に乾燥させる。					
2 上塗り	弾性ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 0～20	0.12～0.20	2	3時間以上 7日以内 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：弾性ワイドシリコン・弾性ワイドウレタンα
※吸い込みが著しいなどで下塗りをされる場合には、ワイドシーラー EPOをご使用ください。

【既存塗膜のデクスチャーを変える場合】

工 程	塗 材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1 下地調整	●既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ●チョーキング・汚れ・じんあい・劣化塗膜などを高圧水洗で除去する。 ●水洗い面を十分に乾燥させる。 ●既存塗膜の設置を同一模様になる塗材で復元する。					
2 下塗り	リメークブラ 清水	100 1～3	0.8～1.5	1	8時間以上	パターンローラー塗り
3 上塗り	ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 0～20	0.12～0.20	2	3時間以上 7日以内 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：ワイドシリコン・ワイドウレタン

金属部（鉄・亜鉛鉄板・アルミニウム・ステンレス）

●既存塗膜…アクリル樹脂エナメル・ポリウレタン樹脂エナメル・塩化ビニル樹脂エナメル・塩化ゴム系塗料・合成樹脂塗料ペイント

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー・ワイヤーブラシ・研磨布・皮スキなどの手工具を併用して、さび・黒皮・汚染付着物などを除去する。(ケレン種別は各鎮止塗料のカタログを参照してください。) ●油類は、溶剤がきで除去する。					
2 下塗り	エポマイルド	100	0.12～0.16	1～2	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5～20	0.12～0.16	2	3時間以上 7日以内 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：ワイドシリコン・ワイドウレタン
□使用可能下塗り：エポマイルド・1液ワイドさびストップ・ワイドさびストップ・エポブラ・さびストップ・リフノン・ワイドラスノンEPO
※さびが発生していない場合には、下塗りを省略することができます。

木 部

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●既存塗膜の劣化部分をスクレーパー・研磨紙などを用いて除去する。 ●汚れ・付着物は、木部を傷つけないように除去し、油脂類は溶剤がきで除去する。					
2 上塗り	ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 0～20	0.12～0.16	2	3時間以上 7日以内 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：ワイドシリコン・ワイドウレタン
※木の素地が露出している場合には、1液ワイドウレタン木部下塗を用いて下塗りしてください。

樋（硬質塩ビ）

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●サンドペーパーなどを用いて目粗しをする。 ●汚れ・付着物は、木部を傷つけないように除去し、油脂類は溶剤がきで除去する。					
2 上塗り	ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 0～20	0.12～0.16	2	3時間以上 7日以内 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：ワイドシリコン・ワイドウレタン

防錆形ワイドシリーズ（金属部・木部）

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●3種ケレン又は4種ケレン (注)既存塗膜の劣化状況にあわせてケレンを行う。					
2 上塗り	防錆形ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 0～15	0.10～0.16	2	3時間以上 7日以内 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：防錆形ワイドシリコン・防錆形ワイドウレタン
【金属系素地の場合】
さびの発生が著しい場合や、海浜部など腐食環境が厳しい場合は、下塗り（エポマイルドなど）を使用してください。
【木部の場合】
既存塗膜の剥離が著しく、吸い込み止めが必要な場合は、下塗り（1液ワイドウレタン木部下塗など）を使用してください。

- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
特に下記場所の保管は避けてください。
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- 捨てるときには、産業廃棄物として処分してください。

新設塗装仕様

外壁（コンクリート・モルタル）

【平滑仕上げ】

工 程	塗 料	割合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●素地は、十分に乾燥させる。(含水率 10% 以下、pH10 以下) ●素地のレタンス、エフロエッセンス、汚れは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは 予めラフトンフィラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
2 下塗り	ビナクルシーラー	100	0.10～0.17	1	1 時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1 液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5～15	0.12～0.16	2	4 時間以上 (最終養生 24 時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：1 液ワイドシリコンα・1 液ワイドウレタン

□使用可能下塗り：ビナクルシーラー・ビナクルホワイト、ワイドシーラー EPO・ワイド浸透シーラーシリーズなど

【凹凸仕上げ】

工 程	塗 料	割合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 下地調整	●下地は、十分に乾燥させる。(含水率 10% 以下、pH10 以下) ●下地のレタンス、エフロエッセンス、汚れは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは 予めラフトンフィラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
2 下塗り	サミブラ 清水	100 0～5	0.07～0.11	1	3 時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 主材塗り	ラフトンジャンボ 清水	100 0～2	1.40～1.60	1	16 時間以上 (凸部処理 1 時間以内)	タイルガン 口径 6.5～8.0mm 吹付圧 0.3～0.6MPa
4 上塗り	1 液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5～15	0.12～0.20	2	4 時間以上 (最終養生 24 時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□使用可能主材：ラフトンジャンボ・ラフトンジャンボ RE・ラフトンジャンボ Si・
ラフトンローラー・ラフトンローラー RE・ラフトンローラー Si

□上塗りの種類：1 液ワイドシリコンα・1 液ワイドウレタン

□使用可能下塗り：ビナクルシーラー・ビナクルホワイト・ワイドシーラー EPO・サミブラ・ワイド浸透シーラーシリーズ

金属部（鉄・亜鉛鉄板・アルミニウム・ステンレス）

工 程	塗 料	割合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤーブラシ、 研磨布、皮すきなどの手工具を併用して、さび、劣化塗膜などを除去する。 ●油脂類は溶剤ぶきで除去する。					
2 下塗り	エポマイルド	100	0.12～0.16	1～2	3 時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1 液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5～15	0.12～0.16	2	4 時間以上 (最終養生 24 時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：1 液ワイドシリコンα・1 液ワイドウレタン

□使用可能下塗り：エポマイルド・エポブラ・さびストップ

※ぶぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材には、ワイドさびストップを使用してください。

■ 塗装上の注意事項

- ・素地は十分に乾燥させてください。(含水率 10 % 以下、pH10 以下)
- ・素地の巣穴、クラック、不陸、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンカチオン SC フィラーなど
で補修し、平滑にしてください。
- ・光触媒、無機系、ふっ素樹脂塗料などが施された特殊サイディングボードへ塗装する場合は、下塗り
として WB グリッブシーラー EPO をご使用ください。
- ・常時浸水する部位には、使用を避けてください。
- ・気温 5℃ 以下、湿度 85% 以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- ・強風時や降雨、降雪のおそれがある場合は塗装を避けてください。
- ・塗装時は、事前に既存塗膜を塗料用シンナーで拭き取り、溶解やリフティングが発生しないことを確認
してください。
- ・塗料用シンナーで溶解やリフティングを生じようような既存塗膜に塗装すると、ふくれ等が発生することがあります。
吹付塗装の場合は、周囲への飛散防止に十分注意し、養生を行ってください。
- ・主剤、硬化剤は正確に混合し、使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。また、可使
時間内にご使用ください。
- ・使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- ・うすめずは、たるみ・隠べい不足・つや不良などを生じますので注意してください。
- ・たれ、塗り残しなどが無いように均一に塗装してください。
- ・塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
- ・塗付量が少ないと十分な塗膜性能が得られませんので、所定の塗付量を塗装してください。
- ・各工程の塗装間隔は所定の時間を守ってください。また山間部などで、夜霧が早く降る地域では、
塗装を早めに終え、乾燥時間を確保してください。
- ・被塗物の形状、膜厚、色相、塗装回数、希釈率によりつやが異なって見える場合がありますのでご了承
ください。塗装前に必ず試し塗りを行い、つや等の仕上がりを確認したうえで、本塗装を行ってください。
- ・上塗りを 1 回目塗装後に、2 回目の色相を変えて塗装しますと、ブリードによる変色を生じるときがあり
ますのでご注意ください。

塗り替え塗装仕様

外壁（コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード）

【既存塗膜のテクスチャーを活かす場合】(活膜の既存塗膜を対象にしています)

●既存塗膜…リシン・吹付タイル・スタッコ・EP・AEP

工 程	塗 料	割合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 下地調整	●チョーキング、汚れ、じんあい、劣化塗膜などを高圧水流で除去する。 ●水洗い面を十分に乾燥させる。					
2 上塗り	1 液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5～15	0.12～0.20	2	4 時間以上 (最終養生 24 時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：1 液ワイドシリコンα・1 液ワイドウレタン

※吸い込みが著しいなどで下塗りをされる場合には、ワイドシーラー EPO・ワイド浸透シーラーシリーズをご使用ください。

【既存塗膜のテクスチャーを変える場合】

工 程	塗 料	割合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 下地調整	●既存塗膜の浮き、ふくれ、ぜい弱部などはサンダー・皮すきなどを用いて除去する。 ●チョーキング、汚れ、じんあい、劣化塗膜などを高圧水流で除去する。 ●水洗い面を十分に乾燥させる。●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。					
2 下塗り	リメックブラ 清水	100 1～3	0.80～1.50	1	8 時間以上	パターンローラー塗り
3 上塗り	1 液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5～15	0.12～0.20	2	4 時間以上 (最終養生 24 時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：1 液ワイドシリコンα・1 液ワイドウレタン

金属部（鉄・亜鉛鉄板・アルミニウム・ステンレス）

●既存塗膜…アクリル樹脂エマル、ポリウレタン樹脂エマル、塩化ビニル樹脂エマル、塩化ゴム系塗料、合成樹脂調合ペイント

工 程	塗 料	割合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤーブラシ、 研磨布、皮すきなどの手工具を併用して、さび、劣化塗膜などを除去する。 ●油脂類は溶剤ぶきで除去する。					
2 下塗り	1 液ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0～5	0.12～0.18	1～2	3 時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1 液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5～15	0.12～0.16	2	4 時間以上 (最終養生 24 時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：1 液ワイドシリコンα・1 液ワイドウレタン

□使用可能下塗り：エポマイルド・1 液ワイドさびストップ・ワイドさびストップ・エポブラ・さびストップ

※塗り替え面にさびが発生していない場合には、下塗りを省略することができます。

木 部

工 程	塗 料	割合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●オービタルサンダー（研磨紙 P180～240）などを用い、かんじ目、逆目、毛羽を除去し平滑にする。 ●汚れ、じんあいは拭き取り、ヤニ・油脂類は溶剤拭きで除去する。 ●既存塗膜の劣化部分は、スクレーパー、研磨等を用いて除去する。					
2 下塗り	1 液ワイドウレタン 木部用下塗り	100 (無希釈)	0.12～0.16	1	3 時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	1 液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5～15	0.12～0.16	2	工程内 4 時間以上 (最終養生 24 時間以上)	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：1 液ワイドウレタン・1 液ワイドシリコンα

□使用可能下塗り：1 液ワイドウレタン木部用下塗り・エスコート下塗り

樋（硬質塩ビ）

工 程	塗 料	割合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整	●サンドペーパーなどを用いて目荒しをする。 ●汚れ・付着物・油脂類をシンナーぶきなどにより除去する。					
2 上塗り	1 液ワイドシリーズ 塗料用シンナー	100 5～15	0.12～0.16	2	4 時間以上 (最終養生 24 時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：1 液ワイドシリコンα・1 液ワイドウレタン

- ・次のような下地面の場合、付着不良や 2 回塗り時にチヂミを生じることがありますので、塗装を避けてください。
 - ・清掃が不十分で汚れが付着している下地・塗料用シンナーの拭き取りで取れる既存塗膜
 - ・完全硬化した 2 液形塗料の既存塗膜など
- ・シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがある
ため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化して
いることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリングの場
合は 2 回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)
- ・シャッター・歩行部位への使用は避けてください。
- ・ドアパッキン、ゴム、プラスチックなど可塑性を含むものに本品塗装面が接触すると、粘着の発生やく
難を起こす場合がありますので、接触が予想される箇所には塗装を避けてください。
- ・ベンチ・ジャングルジムなどが乗るもの、またテーブル、カウンター、棚など物を置くものへの塗装は
避けてください。
- ・風通しの悪い箇所では、換気を十分に行ってください。
- ・開缶した状態で長時間放置しますと、空気と反応し、増粘・皮張りを起こす恐れがあります。使用後の塗
料は密閉する、また、塗料の残りが少ない場合には小さい容器に移すなどして冷暗所に保管してください。
- ・塗装用具の洗浄にはスズカシンナー #1000 もしくはスズカシンナー #2000 をご使用ください。
- ・補修塗りは、使用した塗料（同一ロット）を用いて、同じ塗装方法で行ってください。
- ・常時、高温・高湿度になる箇所や、酸性・アルカリ性物質が当たる箇所は劣化が早くなる可能性があります。
・本見本帳に記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありま
すので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

注) ①建物の構造、塗装部位(雨のかかりが少ない面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効
果が発揮されないことがありますのでご了承ください。

②各製品の容器には、取扱上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全に
ご使用ください。また、製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4

研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191

☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311

東京支店 ☎03-5661-2211

名古屋支店 ☎052-411-1255

大阪支店 ☎072-862-1601

広島支店 ☎082-277-1116

四国支店 ☎0877-24-4621

九州支店 ☎092-938-0071



URL <https://www.suzukafine.co.jp/>

●この見本帳に記載の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
●この見本帳に記載以外の下地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。

取扱店

⑦

21/10